

学力向上の現場 全国教員が視察

福井・中藤小など

福井県の教育現場を全国の教員が視察する「福井教育フォーラム」が2、3の両日、県内の小中高校などで開かれた。初日は県内7校で公開授業を行い、全国トップクラスの学力につながる取り組みを紹介。2日間で教員ら約500人が参加し学力向上の効果的な手法などを考えた。

県教委と日本教育新聞社が2014年度から毎年開いている。

福井市中藤小では約60人が4年生の算数と5年生の国語の授業を見学した。計算を扱った算数の授業は、ばらば



×をとりながら児童の話し合いの様子を見学する教員ら

＝2日、福井市中藤小

らの数字を100や1000のまとまりに組み合わせると簡単になることなどを教える内容。参加した教員は話し合いながら、児童が計算方法を導き出す様子をチェックした。

意見交換会では「算数の授業ではあるが、子どもたちが意見を述べる場が多く設けられていて良かった」「話し合

いが多いのはいいが、まずは理解させることが大事」などの声が上がリ、より良い授業の方法を探った。

3日には福井市の福井商工会議所ビルで講演やシンポジウムが開かれた。(黒田美紗)